

としょかんだより 第135号

昭和4年竣工時の高野山大学図書館研究室

本学総合学術機構課長 木下浩良

高野山大学図書館は、本学の旧制大学昇格にともない施設充実の一環として、昭和4年(1929)に建設された。当時は、東洋一の図書館と称された。校舎・講堂等が平屋あるいは2階建ての木造建築であったのに対して、図書館は鉄筋コンクリート3階建てであった。図書館は、高野山において初めて建設された西洋建築物でもあった。

高野山大学図書館は、当時としては、高野山内でさぞかし威風を放った建物だったことが知られる。図書館内には施設管理のための住みこみの図書館専任の用務員が配されて、食堂や喫茶店が開かれていた。ちなみに、図書館住み込みの用務員は筆者が高野山大学の職員となった昭和58年(1983)頃までいらっした。

図書館の内部構造は、閲覧室・書庫・研究室の3つに分けられる。本稿では、その中の建設当時の研究室について触れてみたい。

その図書館の研究室に個室を構えたのが、当時の本学教授陣であった。1階・2階・3階と順に挙げると下記のようなになる。

(1階)

第1号研究室：山田契誠教授

第3号研究室：加地哲定教授

第6号研究室：神代峻通教授

第2号研究室：月輪賢隆教授

第4号研究室：中野義照教授

(2階)

第8号研究室：松長有見教授

第10号研究室：梶尾祥雲教授

第9号研究室：助手

第11号研究室：金山穆韶教授

(3階)

第14号研究室：小野玄妙教授

第16号研究室：福場保洲教授

第15号研究室：山本辰一教授

第17号研究室：天野観明教授



高野山大学図書館建設
に至る過程や当時の図
書館の見取り図は『高野山大学
百年史』(請求記号:554/コ/25)
より確認できます。



旧制時代の綺羅星の高野山大学教授陣が名を連ねている。金山・梶尾・加地・中野の各教授は、後年学長となり本学の礎となった高德たちである。小野教授は、東洋大学教授を兼ねていたが、週のうち半分は東京から夜行電車で高野山大学へ通う、仏教芸術学科の主任教授であった。教授陣の配置を一覧すると、1階は仏教学科、2階が密教学科、3階が仏教芸術学科のそれぞれの教授陣であったことが知られる。

現在、図書館で研究室を構えるのは次の3教授である。佐藤隆彦教授2階第7号研究室。松長潤慶教授2階第10号研究室。前谷彰(恵紹)教授2階第11号研究室。

〈ご注意ください〉

新型コロナウイルスの感染拡大により、開館予定を変更する場合があります。その際は大学の掲示や図書館HPにてお知らせします。

防災



9月1日は防災の日です。この日付は1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。また防災の日を含めた1週間は防災週間となっています。

今回は、災害や防災に関する図書を集めてみました

書名	請求記号	登録番号
自衛隊防災 Book	680/マ/15-1	000166601
先人たちが残してくれた「災害の記憶」を未来に伝える	910/セ/32-1	000151247
気象予報と防災	中公/2520	000166647
津波災害 減災社会を築く	岩新/新赤/1708	000166108

2020年 8月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2020年 9月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

	9:00-18:30		13:00-18:30
	9:00-17:00		13:00-17:00
	休館日		9:00-20:00

発行所

〒648-0280

和歌山県 伊都郡高野町

高野山 385

高野山大学 図書館閲覧室

TEL : 0736-56-3835

FAX : 0736-56-5590

E-mail :

service-lib@koyasan-u.ac.jp

twitter : @koyasanlib

(編集後記)

今年の梅雨明けは統計開始以来、3番目に遅かったそうです。

これから夏本番。夏バテしないように注意していきましょう。(吉)

砂曼荼羅



閲覧室に展示しているタペストリーは高野山大学ダライ・ラマ法王招聘委員会代表の藤田光寛師（前学長）より寄贈されたものです。

この砂曼荼羅は2011年のチベット密教のマンダラ灌頂のため制作されたものです。本来、灌頂儀式が終了すると壊されるのですがダライ・ラマ法王招聘を記念してこの曼荼羅は保存されることとなりました。そして2011年、2014年のダライ・ラマ法王招聘を記念してこのタペストリーは作成されました。

本物の金剛界曼荼羅は高野山大学の正面玄関に展示されています。機会があればぜひご覧ください。

新着図書紹介



書名：熊野から読み解く 記紀神話

著者：池田雅之 三石学編

請求記号：120/ク/1

登録番号：000168535

『日本書紀』が編纂されてから今年で1300年。日本神話で黄泉の国である「根の国」とされているのは「出雲」と「熊野」で両方ともパワースポットで有名な場所です。

熊野に深い縁をもつ筆者5人が、神話と熊野について書かれています。